資料１－２

「ひとにやさしいまちづくり推進指針」具体的な推進方向の進捗管理について

１　具体的な推進方向の進捗管理

現行指針では、「具体的な推進方向の進捗については、主要な指標の推移とともに関係する施策の実施状況を把握し、ひとにやさしいまちづくり推進協議会に報告・協議のうえ、施策の改善・見直しを継続的に行う」としている。

２　主要な指標の達成状況

推進方向の分野	指　標　名	基準値	実績値	実績値（見込）	目標値
		H26	H27	H28	H31
１　ひとづくり	ひとにやさしいまちづくりの県民認知割合（%）	63.0	68.4	－	70.0
２　まちづくり	不特定多数の者が利用する公共的施設のバリアフリー化率（%）	68.2	69.4	64.9	75.0
	公営住宅における高齢化仕様率（%）	37.9	39.1	－	48.0
	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設協定締結区画数（区画）	891	933	939	990
３　ものづくり	優良事例の表彰件数　（件/年）	0	1	－	1
４　情報・サービス	手話通訳者等養成者数　（人）				
	手話通訳者・要約筆記者	142	168	188	292
	点訳奉仕員・音訳奉仕員	249	287	315	349
５　社会参加	障がい者法定雇用率達成企業の割合（%）	52.9	54.1	56.3	60.0

ア　**「ひとにやさしいまちづくりの県民認知割合」**は、平成 27 年度は 68.4%となり、前年度と比較すると増加（+5.4 ポイント）したが、以前として３割程度の方については、「ユニバーサルデザイン」が生活に身近な存在として理解されているとは言い難い状況にある。

イ　**「ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設協定締結区画数」**は、平成 27 年度は 933 区画、平成 28 年度は 939 区画（見込）となり、それぞれ前年度と比較して増加した。

駐車区画の増加に向けた取組として、平成 27 年度は、ひとにやさしい駐車場の一斉調査、平成 28 年度は、いわてユニバーサルデザイン電子マップの施設調査を活用した周知等に取り組んだ。

ウ　**「優良事例の表彰件数」**は、平成 27 年度は１件となり、目標値を達成したが、ものづくり分野での表彰は平成 22 年度以来であることから、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた製品開発、製品利用の促進支援のため、継続して優良事例を収集する必要がある。

エ　**「手話通訳者等養成者数」**は、平成 27 年度は 455 人、平成 28 年度は 503 人（見込）となり、それぞれ前年度と比較して増加した。ただ、手話通訳者・要約筆記者については、年間養成目標数（30 人）に達しておらず、研修への参加促進や２年間にわたる研修への意欲持続に向けた支援等が課題である。

オ　**「障がい者法定雇用率達成企業の割合」**は、平成 27 年度は 54.1%、平成 28 年度は 56.3%となり、それぞれ前年度の達成率と比較して増加した。障がい者の雇用促進に向けた取組として、職業訓練、ジョブコーチ養成研修やセミナーの開催等が行われている。